Tホ-0224-01
11.09

ＮＫ型小判座交換用
ＵＫＴ型小判座レバーハンドル空錠・内締錠・表示錠 取付説明書

地球にやさしく 品質の向上へ ISO 14001 9001 川口技研
営業本部／〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048(255)5411 FAX 048(255)8228
ホームページ http://www.kawaguchigiken.co.jp/

⚠ 取付上の注意

◎使用可能ドア厚は空錠：28～40ｍｍ、内締・表示錠：28～36ｍｍです。（28~33mmは付属のナイロンリングを使用します。）

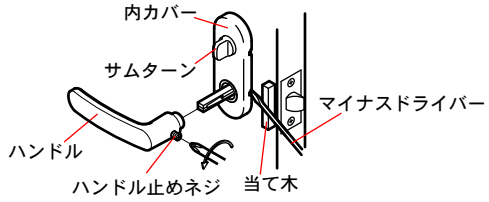
■本製品は、一般住宅室内専用です。玄関や屋外では使用しないで下さい。（浴室・商業施設等での使用不可）

■電動ドライバーは使用しないで下さい。

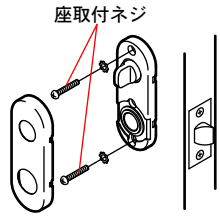
ネジの締め過ぎによりハンドルに傷を付ける、ネジをこわす、座の変形、ドアのヘコミによる作動不良などを起します。
ネジの締め付け不足により、ハンドルや座がガタガタし、いずれ外れてしまい、重大な事故へつながります。

取外し方法

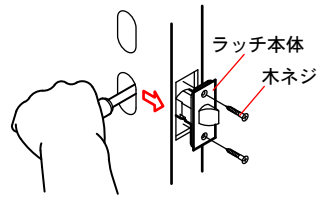
1 ハンドル止めネジをゆるめ、両側のハンドルを抜きます。
（ハンドル止めネジが室外側にある場合もあります。）
当て木をして、内カバーをマイナスドライバーで外します。



2 座取付ネジを外して、
室内座・室外座を外します。

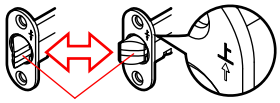


3 ラッチ本体の木ネジを外し、図のように引き抜きます。
ラッチ本体も必ず交換して下さい。

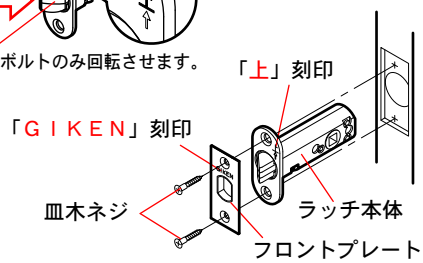


交換用小判座内締錠・表示錠の取付方法（空錠も同様に取付けて下さい。）

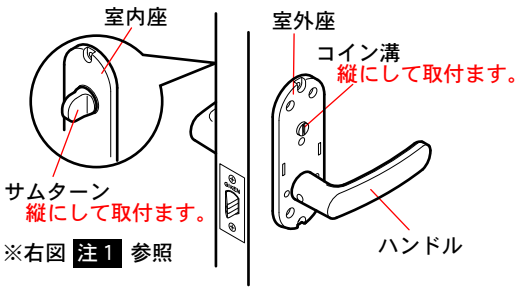
1 ラッチ本体の「上」刻印を合わせドアに差込み、ラッチボルトの向きをドアの開く向きに合わせ、「ＧＩＫＥＮ」刻印の向きを合わせてフロントプレート取付け、皿木ネジでラッチ本体を固定します。



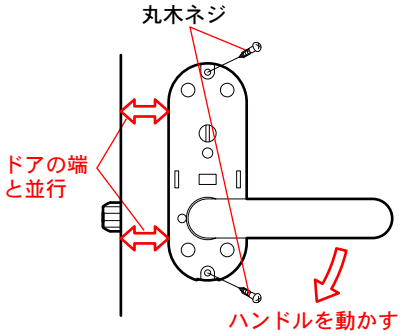
※ラッチボルトのみ回転させます。



2 サムターンとコイン溝を縦にして室外座・室内座をドア面に当てがい、ハンドルを差し込みます。



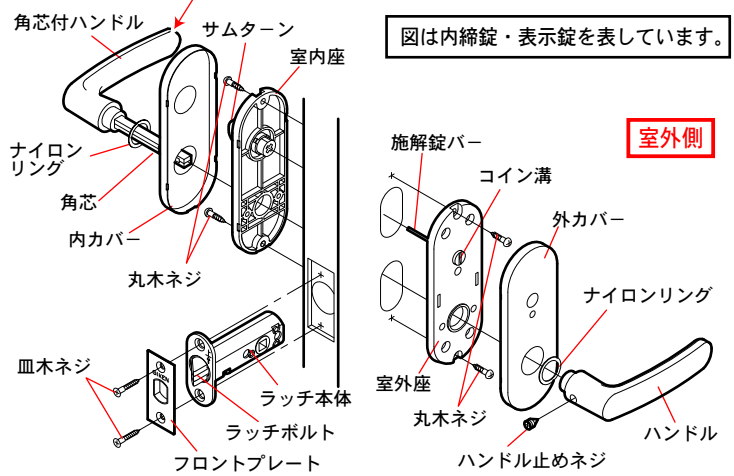
3 室外座と室内座をドアの端と並行に合わせ、ハンドルを動かしながら動きの良い所で、丸木ネジで固定します。



各部の名称

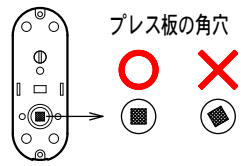
※ハンドルの取付けは図の様に角芯付ハンドルを室内側に取付ける様にお願いします。
（ハンドルのデザインによっては室内側に取付け出来ない場合があります。）

図は内締錠・表示錠を表しています。

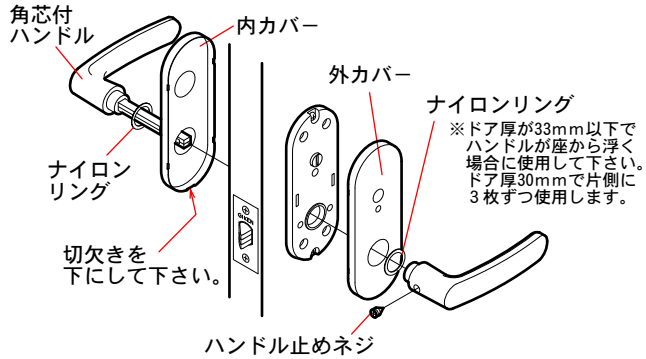


注１ サムターンの試し動きをされる時

プレス板が傾いているとサムターンは回りません。
ハンドルの取付時と同じ水平状態にして、サムターンを回して下さい。



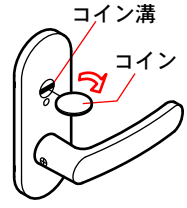
4 ハンドルを抜いてカバーをかぶせてからハンドルを差し込み、ハンドル止めネジを手回しドライバーでしっかり締め付けて下さい。（ハンドルの取付けは図の様に角芯付ハンドルを室内側に取付ける様にお願いします。）



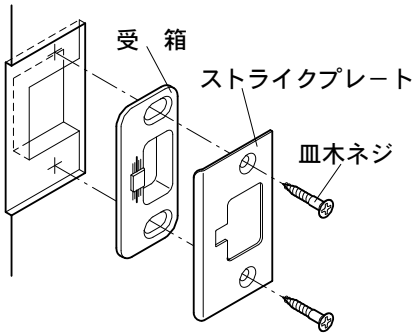
⚠ ハンドル止めネジが緩むと、ハンドルが外れて作動出来なくなる場合があります。
手回しドライバーでしっかり締め付けて下さい。

非常解錠方法

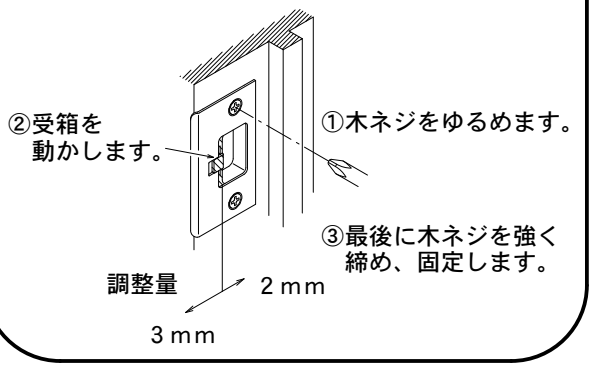
内締錠と表示錠では、非常時にはコイン溝にコインなどを差込み、時計回りに回転させて解錠します。



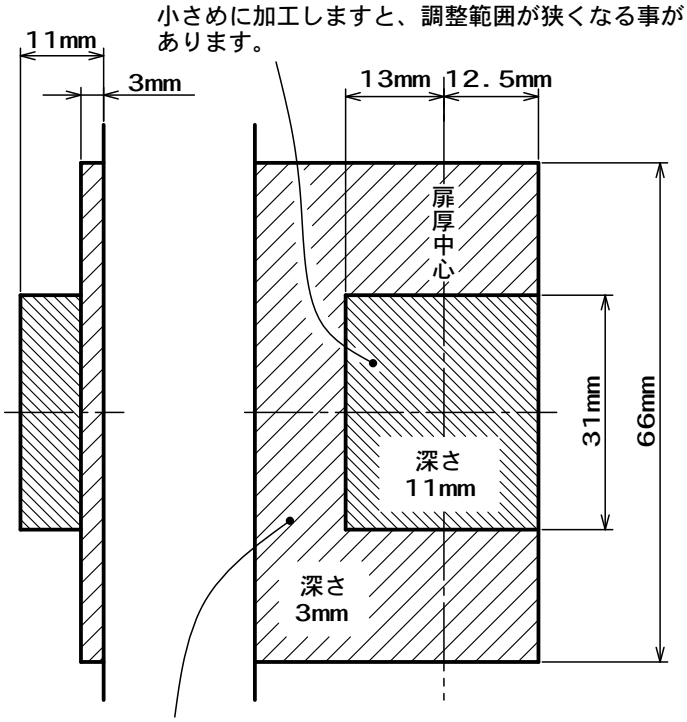
調整ストライクの取付方法　新規取付用（レバーハンドルの交換だけの場合は不要です。）



受箱の調整方法



※受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。
小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。



※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意下さい。

ユーザー様への取扱説明書

⚠ お手入れする際の注意 ⚠

①指輪及び硬質なものでキズを付けないようご注意ください。塗膜はがれの原因となる場合があります。

②汚れ落としには中性洗剤以外の洗剤・漂白剤・シンナ等で拭かないでください。変色・はがれ等の原因になります。

③お手入れの際に洗剤や水分が残らないよう、最後は必ず柔らかい布でから拭きしてください。

- ✕ 酸性やアルカリ性の洗剤（トイレ用洗剤や住宅用洗剤等）
- ✕ 漂白剤
- ✕ シンナー等の有機溶剤
- ✕ ブラシ等硬いもの

汚れの程度に応じたお手入れ方法

■水拭きでも落ちない汚れの場合・・・①②③を行ってください。

■から拭きでも落ちない汚れの場合・・・②③を行ってください。

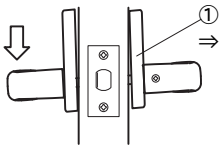
■軽い汚れの場合（定期的なお手入れ）・・・③を行ってください。

※枠の変形、ドアの反り等で、ラッチボルトの掛かりが悪くなった場合には、専門業者に相談し調整が必要です。
メンテナンスしないで使い続けますと壊れる原因になります。

平素は川口技研の住宅室内錠製品をご使用いただきありがとうございます。 定期的にお手入れいただき、末永いご愛顧をよろしくお願いいたします。

ゆるんだネジは締め直しましょう

異常



① 座のゆるみ
⇒ 座をつかんで揺さぶるとグラグラと動く。座がゆるんでいる場合、ハンドルに異常な力がかかり、ラッチ本体にダメージが加わる。

異常

② ハンドル・握り玉のゆるみ
⇒ ハンドル・握り玉を引っ張ると座との間にスキマができる。ハンドル止めネジがゆるんでいる場合、そのまま放置すると、ハンドル・握り玉が抜けて、ドアの開閉ができなくなる。

安全のためのお願い

異常使用状態

ネジのゆるみ等の異常な使用状態で使い続けますと故障の原因となり、ドアが開かなくなる等、思わぬ大きな事故にもつながります。

異常な使用状態とは

- 長期間の使用でメンテナンスを怠った場合
（ハンドルや座の取付けネジがゆるんだまま使用を続ける等）
（ドア内部の木芯の収縮によるネジのゆるみ）
- 乱暴な操作を繰り返した場合
（ハンドルを回しきる前にドアを強く引く、お子様のぶら下がり等）
- 錠に大きな負担がかかる場合
（重いドアでの使用や強力なドアクローザー付きのドア等）
- 正しい取付けが行なわれていない場合
（指定外の取付け穴加工、ネジの締め込み不足等）